

## ■ 会計「翌期更新」のポイント

確定申告や決算申告業務が終わると【翌期更新】メニューで年度の繰り越しをおこないます。今回はその際に発生しやすいエラーや確認ポイントなどをお伝えします。

※翌期更新をおこなった期は過去期となり、データの変更・修正・削除ができなくなりますのでご注意ください。

### ●● 翌期更新時に発生するエラーメッセージ

#### ◆「他の業務と競合するため、F2 実行はできません」

確認箇所①：画面上部ツールバー [ウインドウ(W)]

[ウインドウ(W)] に右の3メニューだけが表示されている状態にします。

他のメニューが起動している場合は終了して下さい。

メインメニュー

財務会計>業務メニュー

財務会計>翌期更新

確認箇所②：メインメニュー「会社選択」

他端末(会計事務所・顧問先)で同じ会社データを開いている場合は、翌期更新できません。

会社選択のウインドウで[F4 詳細]をクリックすると現在の利用者を確認することができます。

#### ◆「貸借対照表の科目に『補助科目未入力』の期末残高が0でないものがあります」

確認メニュー：月次試算表、補助残高確認表、仕訳日記帳など

「補助科目未入力」の期末残高がある貸借科目を確認し、適切な補助科目に振り替えるか、その仕訳データを検索して補助科目を修正し、期末残高がゼロになるように調整してください。

#### ◆「仮受(仮払)消費税の残高が0ではありません」「諸口の残高が0ではありません」

確認メニュー：月次試算表、総勘定元帳など

該当する勘定科目の期末残高がゼロになるように仕訳データの追加、修正をおこなってください。

## ■ PBシステムインストール時の警告表示について

本日 3/1(火)、サポートページ掲載のインストール用プログラムを更新いたしました。

これにより、本日以降しばらくの間、プログラムをダウンロードや実行した際に「Microsoft Defender SmartScreen」の機能において動作制御がおこなわれることが想定されます。

※ 3/1以降に従前(2/28以前)のインストールプログラムを使用した場合も問題は生じません

※ すでにPBシステムインストール済みのPCにおいて新たに行う作業はございません

警告メッセージが表示された場合の操作方法につきましては、サポートページに掲載しております。

NMC サポート

検索

お知らせ

～(3/1以降)インストール時の警告表示につきまして